

# 工事説明書

IHクッキングヒーター  
型式名 BCH-301D

設置クーライク

## 安全上のご注意

- 設置工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上正しく工事してください。
- ここに示す注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 絵表示の詳しい説明は下記のとおりです。

	<b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、「人が死にまたは重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。
	<b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される」内容を示しています。
		この絵表示は、「してはいけない『禁止の行為』」内容です。
		この絵表示は、「必ず実行いただく『強制指示の行為』」内容です。

設置工事後、試験運転を行い、異常がないことを確認するとともに取扱説明書にそって、お客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

- 警告**
- 設置工事はお買い上げの販売店または専門業者に依頼すること
  - 設置工事に不備があると、水濡れや感電、火災の原因になります。
  - 設置工事は、工事説明書に従い確実に行うこと
  - 設置工事に不備があると、水濡れや感電、火災の原因になります。
  - 設置工事は機器の種類に十分耐える所に確実に行うこと
  - 強度不足や取付が不完全な場合、機器の落下や転倒によりけがの原因になります。
  - 組み合わせるオーブンは指定機器を使用すること
  - 指定以外で使用すると、機器の過熱等事故の原因になります。
  - 電源は200V・30A以上の専用回路と漏電しや断器を設置すること
  - また、電源ブレーキ(250V-30A)に合った専用コンセントを単独で使用すること
  - 電源回路の容量不足や設置工事不備があると感電、火災の原因になります。
- 注意**
- フース工事を必ず行うこと
  - フース工事はD種接地工事が必要です
  - フースが不完全な場合は、感電の原因になります
  - 設置工事部品は、必ず付属部品または、指定の部品を使用すること
  - 異なった部品を使用すると、機器の落下や転倒、水濡れ、感電、火災の原因になります
  - 絶対に分解、修理、改造は行わないこと
  - 火災、けが、感電の原因になります

- 注意**
- トッププレートに衝撃を加えない
  - ひびが入ったり割れた場合、異常動作、感電の原因になります
  - 試運転中は、トッププレートやケトルとひらなご高温部に触れないこと
  - やけどの恐れがあります
  - フース工事は、耐熱材料の物を使う
  - 熱硬化樹脂強化繊維(USK 6903)またはこれと同等以上の物、耐熱性の低い材料を使用すると、変形、火災の原因になります
  - フース引きのものは茶色にするため、使わないでください

PI04-00400 (09/22)

## 同梱部品・付属品

■包装材料を取り外し、下記の同梱部品および付属品が同梱されていることをご確認ください。

サイズモール	吸・排気口カバー	飾り器具	天ぷらなべ
2個	1個	1個	1個
ケトル用網	取扱説明書・工事説明書・クッキングブック・サービスマニュアル	各1冊	
1個			

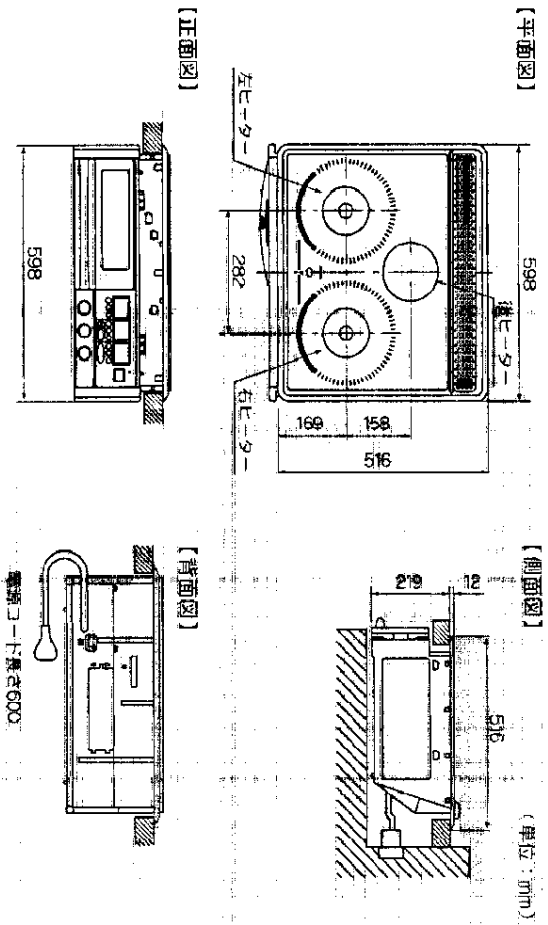
## 1 電気工事及び接地工事

- 電気工事は、必ず「法的有資格者」が行ってください。
- 電気工事や接地工事は「電気設備技術基準」等に準じてください。

- 電源はブレーカー付きの専用回路(30A)を取ってください。
  - 漏電しや断器は必ず設置してください。
  - 漏電しや断器：定格電流30A、感度電流30mA
  - 電源コンセントを設置してください。
  - 単相3線式(定格250V・30A(一極接地用))
  - 電源ブレーキに合った埋め込みコンセントを使用してください。
  - 推奨コンセント：明工社製 ME8586
  - 松下電工製 WF3630B
- (コンセント差し形状)
- 
- 電源コンセントの取り付け位置は「ラズラムクッキングの関係寸法図」を参照ください。
  - フース工事を必ず行ってください。(D種接地工事)
  - コンセントの一種接地用に配線してください。
  - フース工事は、ガス管・水道管・避雷針・電話のフースに接触しないでください。

PI04-00400 (09/22)

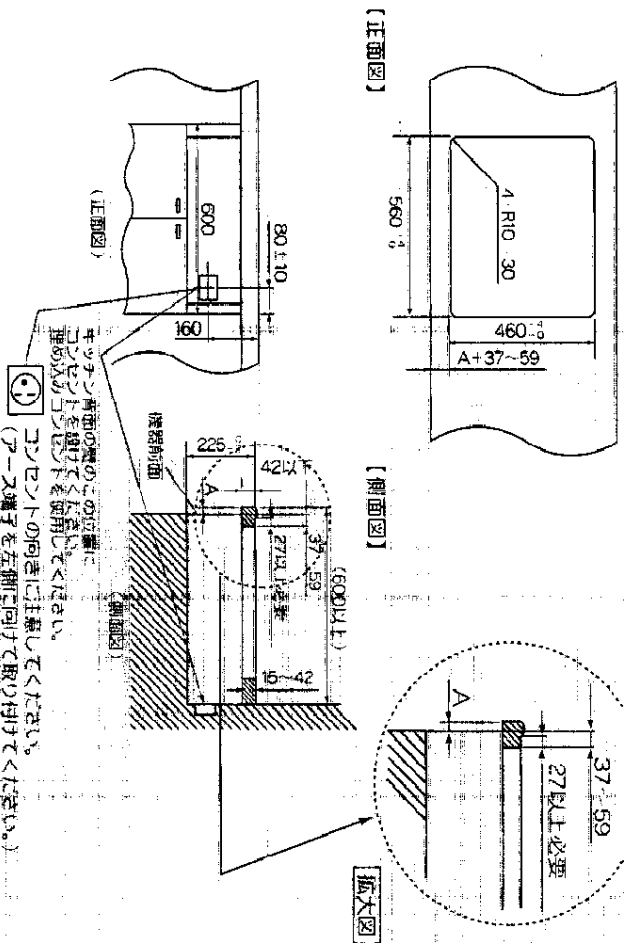
## 2 製品外形寸法図



## 3 システムキッチンとの関係寸法図

【取り付け穴：カウンター切り込み寸法】

(単位: mm)

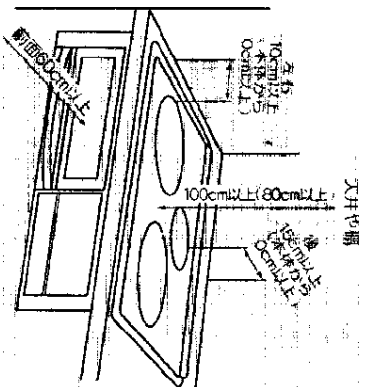


## 4 据付場所の確認

### 壁からの距離

- 器具は火災予防上、可燃物(土壁、糊)との間を側面10cm以上、背面15cm以上、上面100cm以上離してください。また、器具の前は50cm以上離してください。
- 不燃性の壁の場合はその限りではありません。

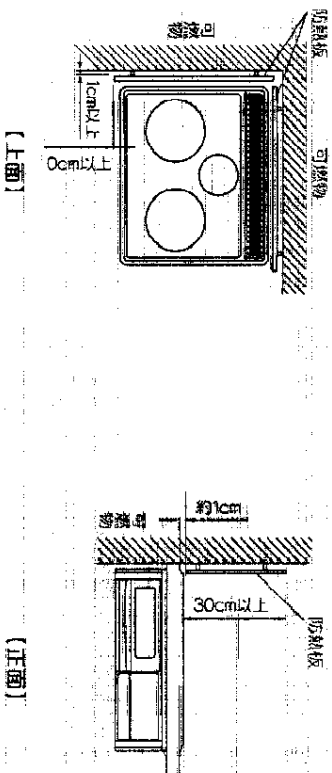
### 周囲が可燃性の壁の場合



( )内は不燃性の壁または、防熱板を取り付けた場合。

「設置基準適合」

可燃性の壁から、上記の距離を離して設置できない場合は、防火上有効な防熱処理をしてください。

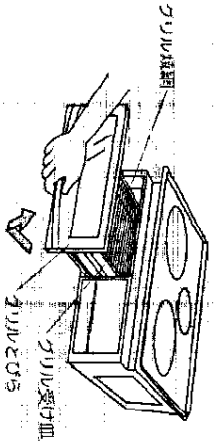


- 製品の金属部がシステムキッチンの金属部と接触する場合は建造物の壁中の金属(メタルラスタなど)とシステムキッチンの金属部を接触しないようにするか、または、製品の金属部がシステムキッチンの金属部に接触しないように取り付けてください。
- 本体をタイルやモルタルで塗り込まないでください。点検やメンテナンスの際の妨げとなります。

## 5 設置

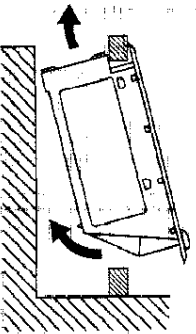
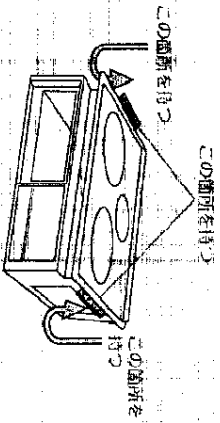
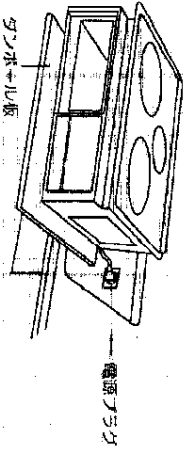
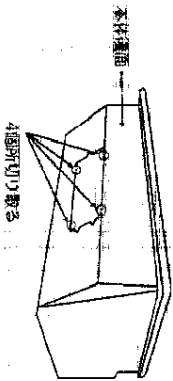
■同梱部品の吸・排気口カバーは外した状態で設置してください。

- グリルとびらの止めテープを外し、グリルとびらの取っ手を持って止まるまで手前に引き出し、そのまま斜め上に引き上げる。



■オーブンと組み合わせるときは排気高貫通穴をあける。

- 本体後面の4箇所をニッパーで切り取り、穴をあけてください。



### ■本体の設置

#### 1. 電源プラグをコンセントに差し込む

- オーブンツツに電を付けないように梱包用ダンボール板などを敷いてください。

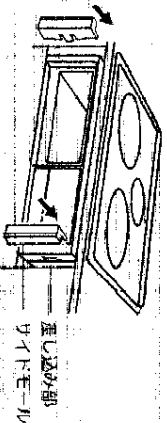
#### 2. フロントツツに本体の前面を挿入してから全体をはめ込む

- 本体の左右を両手で持って、前部をフロントツツ取り付け穴に挿入し、ゆっくりにおろしてください。
- はめ込み時、操作部のスイッチなどをフロントツツに当てないでください。
- はめ込み時、フロントツツの角を保持しないでください。
- 本体挿入時に電源コードをフロントツツやキルヒネツツに挟み込まないよう注意してください。
- 電源コードを濡つけたり、本体が濡いてすき間が発生します。

## 5 設置 (つづき)

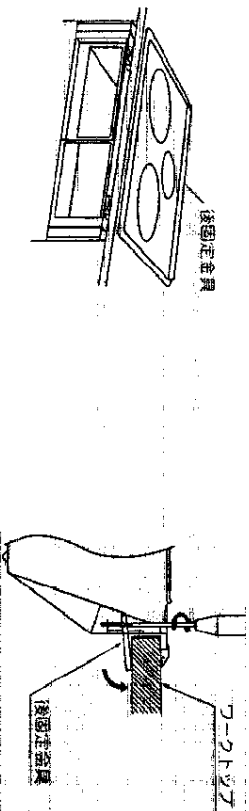
3. 本体位置を左右サイドモールが取り付けできるよりに調整する

- 前板側面の差し込み部に、サイドモールを取り付ける。
- サイドモールとシステムキッチンとの左右側面の隙間が均一になるように本体位置を調整してください。
- システムキッチンの扉面に本体前面が合うように本体位置を調整してください。

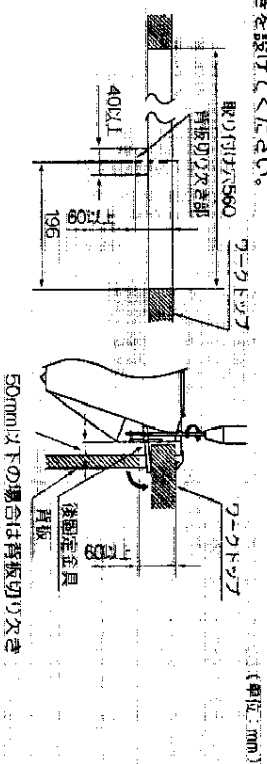


4. 後固定器具を固定する

- ネジを締めつけて、フロントツツの裏面に固定してください。

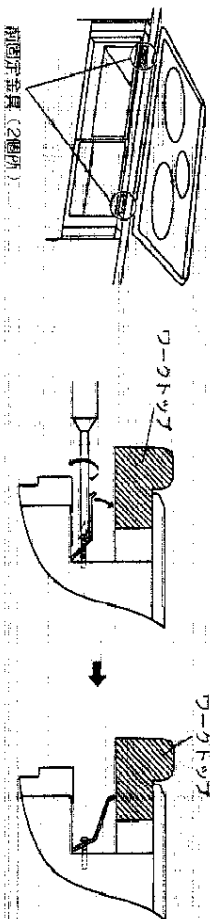


システムキッチンの後方に背板がある場合  
●背板位置がフロントツツの取り付け穴から50mm以下の場合、後固定器具が通るよう背板に切り欠きを取ってください。



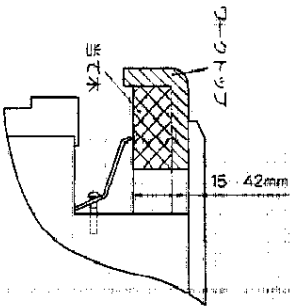
#### 5. 前固定器具 (2箇所) を固定する

- 前固定器具を止めているテープを外してください。
- ネジを締めつけて、フロントツツの裏面に固定してください。
- 固定後、本体を押し動かさないことを確認してください。



## 5 設置 (つづき)

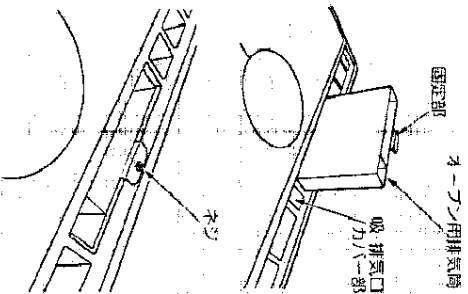
- クーロットの厚みが薄い場合
- 後・前固定金具はクーロットの厚みが15～42mmに適合します。厚みが15mm以下の場合には、当て木を添えてください。



### ■オーブンと組み合わせるときはオーブン用排気筒を接続する

- オーブンに付属されているオーブン用排気筒を吸・排気口カバー部より差し込み、オーブンに固定されている排気筒と嵌合してください。
- オーブン用排気筒は固定部が狭側へくるようにしてください。
- オーブンに付属のネジでオーブン用排気筒を固定してください。

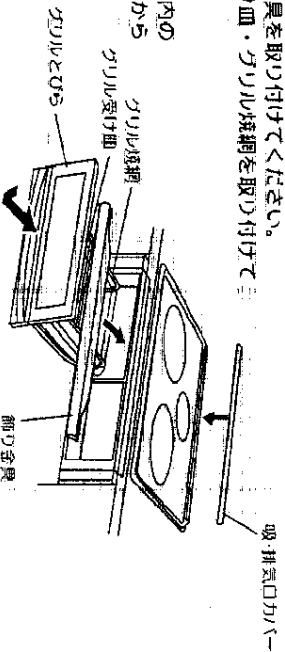
※オーブン用排気筒をネジ固定するとき、取付面から浮いている状態の場合は、オーブンに固定されている排気筒とのセット嵌合が不十分のためです。再度嵌合状態を確認してください。



### ■同梱部品・付属品・グリルとびら・グリル受け皿・グリル焼網を取り付ける

- 吸・排気口カバー、飾り金具を取り付けてください。
- グリルとびら・グリル受け皿・グリル焼網を取り付けてください。

※グリル受け皿の左右を庫内の底部に添わせて、斜め上からはめ込んでください。



## 6 設置完了後の確認

■次の手順で確認し、チェッカーに印を付けてください。

確認事項	確認事項	チェッカー
電気工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>●漏電ブレーカーの設置。</li> <li>●電源プラグの接続。</li> </ul>	
梱包材の取り外し	●グリルとびら・グリル庫内に梱包材がないこと	
同梱部品・付属品の取り付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>●吸・排気口カバー・グリルとびら・グリル受け皿・グリル焼網の取り付け。</li> <li>●サイドモーターの取り付け。</li> <li>●飾り金具の取り付け。</li> </ul>	
外観	●トッププレート枠が浮いていないことを確認する。	
試験運転	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源電圧が単相3線式200Vであることを確認する。</li> <li>●ブレーカーを「入」にする。</li> <li>●電源スイッチを「入」にする。→電源ランプが点灯する。</li> </ul>	
運転	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各ヒーターの動作チェッカーをする。</li> <li>①左ヒーター (Hヒーター) のチェッカー <ul style="list-style-type: none"> <li>●取扱説明書に記載の使えるなべに水を入れヒーターの中央に置いて、「左ヒーター調節つまみ」を押しした後戻して、お湯が沸くのを確認する。確認後、「左ヒーター調節つまみ」を押し込む。</li> <li>※ヒーターは、なべを置かないで操作した場合、なべ無し自動OFF機能が働いて、約1分後に自動的に電源を停止します。</li> </ul> </li> <li>②右ヒーター (RHヒーター) のチェッカー <ul style="list-style-type: none"> <li>●上記左ヒーター (Hヒーター) と同様にして確認する。</li> </ul> </li> <li>③後ヒーターのチェッカー <ul style="list-style-type: none"> <li>●「後ヒーター調節つまみ」を押しした後戻して、後ヒーターが赤くなるのを確認する。</li> <li>●確認後、「後ヒーター調節つまみ」を押し込む。</li> </ul> </li> <li>④グリルのチェッカー <ul style="list-style-type: none"> <li>●操作キーを「入」にしてグリルの中が熱くなるのを確認する。</li> <li>●確認後、操作キーを押しして「切」にする。</li> </ul> </li> </ul>	
外観仕上げ	●電源スイッチを「切」にする。→電源ランプが消灯する。 ●トッププレートが汚れていないことを確認する。	

- 試験運転後は、必ず電源スイッチを「切」にしてください。

据付完了確認者印	
----------	--

- 設置完了確認後、保証書に必要事項を記入のうえ、この「工事説明書」とともにお客様へ渡していただき、保管をお願いをさせていただきます。